

85 石阪昌孝書（大阪事件で獄中の村野常右衛門を詠んだ歌） 明治一九年ころ

【読み下し文】

国事犯こくじはんの疑うたがいありて村野長人むらのちやうじんが獄じくに入りける折おりぞよめる。

昌まのたか

くのためにこころ筑紫つくしの剛男ますらおが

赤あかき心こころの道みちしるべかも